

【オンライン】

卒後2年目研修

「チーム連携におけるメンバーシップ」

～周囲と調和し働くための基本的知識について学ぼう～



講師

医療法人協和会

川西市立総合医療センター

看護師長 樋口 美津香氏

開催日時：①2022年11月11日（金）14：30～16：30
②2022年11月19日（土）10：00～12：00

対象：卒後2年目の全職種

受講者数：157名

看護師90、理学療法士18、作業療法士16、社会福祉士8、
事務職7、臨床検査技師4、薬剤師3、言語聴覚士3、
介護福祉士2、診療情報管理士2、助産師1、診療放射線技師1、
救急救命士1、保育士1、准看護師1、看護助手1

研修内容

- メンバーシップとは？
- 自部署における自分の役割は何か
- 自部署の目標とメンバーシップの関係性
- 多職種連携における職種役割とメンバーシップの発揮
- グループディスカッション



受講者の感想（アンケートより）



- ・多職種連携を円滑に行うためには、教育背景など多様な視点から他職種を理解し尊重することや、自分の職種専門性を高めることが大切であるということが心に残りました。
- ・1年目は失敗が多く、自分のことや相手はこう思っていると決めつけていることがあったが、色眼鏡（認知の歪み）を外して行動しようと思いました。
- ・メンバーシップを発揮するために、部署目標と照らし合わせて立案した自己目標を達成していくことが大切だと感じました。
- ・“人は心の中で何を思っても行動レベルで表現しなければ相手に伝わらない”という言葉が心に残った。
- ・リーダーが組織に及ぼす影響は1-2割程度で、メンバーが組織に及ぼす影響が8-9割であることに驚いた。
- ・リーダーの頑張りによって支えられているチームより、頑張るリーダーを支え助け合うチームが強いという言葉が印象的でした。